

高校生との意見交換会 報告書

地 域 名	八鹿高等学校		
年 月 日	令和6年2月7日(水)	会 場 名	八鹿高等学校
開始時間	15時35分	終了時間	16時50分
参 加 数	生徒5人	議員5人	合計10人
班 長	勝地 貞一	司 会 者	勝地 貞一
報 告 者	全員	書 記	全員
班 員 名	勝地 貞一、藤原 芳巳、田路 之雄、川瀬 稔、田村 和也		
	学 生	議 員	
意 見 交 換	<p>テーマ1「将来の夢や目標、理想の働き方、暮らし方について」</p> <p>○将来は地元で貢献できるような人間としてこの但馬に帰って来たいと思っている。</p> <p>○活字に興味があるので編集系に進みたい。地域に貢献したい気持ちはある。</p> <p>○私も編集系の仕事に就きたいと考えている。働くなら都会になるのかと思う。地域を紹介する観光系の仕事なら地元に戻れるかとも思う。</p> <p>○目標は保育士になること。将来は地元の子供たちをお世話できるようになりたい。</p> <p>○但馬に戻り、学校の先生になりたい。やりがいがありそうだから。</p> <p>○正直何を求められているか、高校生の立場として分からない。地元でどんな人材が必要でどんな力が求められているのか、もっと伝えていただ</p>	<p>○私たちが皆さんの進路を方向づけることはできない。皆さんが思ったように羽ばたくこと、今は進学や、都会に就職する方、海外に行っているような活躍をされる</p>	

	学 生	議 員
意見交換	<p>く場があれば、それに向かって、自分の進路やこれからの生き方を考えていきたいと思う。</p>	<p>方もあるかと思う。どこで生活されても但馬、自分たちが生まれ育ったところを忘れないでいただきたい。</p> <p>この後の意見交換では、地域が力を落としていく中であっても、こんなことができたらいいなという、皆さんの感じたご意見をいただきたい。</p>
	<p>テーマ2「若者が住みたい、住みやすいまちにするには」</p> <p>○飲食店が少ない。若者が遊べるところがほしい。</p> <p>○伊佐地区では街灯が少なく、まちがとても暗い。夜、部活や塾の帰りの時間帯に安全に帰りたいので、街灯を増やしてほしい。</p> <p>○自転車通学をしているが、自転車の通路が狭いので道の改善してほしい。</p> <p>○電車通学をしているが、電車の本数が少ない。学校の終わりの時間帯との折り合いが悪く、終わりの時間帯との調整が必要。</p> <p>○養父市には、若者が待ち合わせに勉強ができる店がない。</p> <p>○Y Bファブに待ち合わせに使える公園が欲しい。柵を設けキャッチボールする範囲もほしい。</p> <p>○Y Bファブにカフェが1店舗ある。他にも違うタイプのカフェや飲食店があれば勉強した後に利用でき、もっと楽しみが増えるし、集まりやす</p>	<p>○伊佐地区では、国道 312 号線の下小田の信号から伊佐橋までと、伊佐橋から浅間に行く道、(株)オーシスマップの先に住宅街があるが暗い。街灯は区で設置できる。</p> <p>○Y Bファブの前に新しい建物が建ち、カフェ的なものができると聞いている。他にも話を聞くので店舗も増えていくと思う。</p>

	学 生	議 員
意見交換	<p>くなる。</p> <p>○地域の方々をつながりを持てたらいと思う。昨年の夏にYBファブでフェスティバルがあり、ダンスや歌など、すごくいいと思った。夏祭り、秋祭りや秋の運動会などでの地域の人との触れ合いやコミュニケーションが、まちづくりにつながるのではないかと思う。</p> <p>○祭りが好きだが、昔に比べたら活気がないと思う。行政が後押しする体制があったらもっと楽しめると思う。住民だけでなく、行政も助け合いながら祭りをもっと活気づけたらいいまちになるのではないか。</p> <p>○広報紙を作成し紙で配られてもあまり読まない。自分から知ろうとする人がそんなに多くない気がする。議員の方からどういう活動をしているのか説明する機会があれば、わかりやすいかなと思う。</p> <p>○実際、この場がそれに近い形だと思う。今日の話は知らないことのほうが正直多かった。普段の生活では議会に関心を持つきっかけがない。こういうのがきっかけで関心を持った。議会は、今まで難しそうだし、ちょっと怖いようなイメージがあったが身近になった。こんな機会がどんどん高校生にも増えたらいいなと思う。</p>	<p>○かつての八鹿の夏祭りが本当に賑やかで、通りが人で埋まった。櫓があって太鼓をたたいているのが八鹿高校生徒であった。祭りは地域が一つになる。どこに住んでいてもぜひ参加してほしい。</p> <p>○養父市もそれぞれの地域の祭りに補助金を出している。</p>

	学 生	議 員
意見交換	<p>○朝来市の広報を読み、生野高校生が議会の体験をしている記事を見た。それも一つのきっかけになるのではないか。</p> <p>○議会の様子はインターネット、ユーチューブで配信しているのか。ユーチューブなどで気軽にアクセスできるようになれば目につくので、自分の好きな動画を見たい時に見ようということになる。</p>	<p>○授業の一環として、ぜひ議場を見に来ていただきたい。</p> <p>○ケーブルテレビ放送、インターネット配信は行っている。ユーチューブ、SNSでの配信は行っていない。</p>
まとめ	<p>○議会に触れる経験がなかったが、養父市の色々な状況が聞けて、学ぶことが多く、いい経験となった。</p> <p>○地元で課題があることはわかる。何か力になりたいと思う。</p> <p>○話してみて印象が変わった。怖くなくなった。カッコよかった。もっと話す機会がほしい。続けてもらいたい。</p> <p>○話したことを、友人にも広げたい。</p> <p>○自分のまちについて、考える機会がなかった。こんな機会をもっと知らせ広げたい。</p>	<p>○高校生の意見は概ね次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊べる場所や飲食店などを増やす。 ・街灯を増やし、まちを明るくする。 ・YBファブの充実。(公園・カフェなど) ・電車の本数を増やす。 ・祭りをもっと充実させる。 ・直接対話やユーチューブで議会を身近に。 <p>○将来は地元に戻り、地域に貢献したい人が大半であった。対話の効果は大きく、今後とも交換会を持つ必要を感じた。</p>

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和6年2月26日

報告者 班長 勝地 貞一